

C.L. information

Vol.25 2013年6月

特 集

- ◆ シロアリから家をまもる
- ◆ 夏場に注意が必要な害虫について
- ◆ 飲料水中の消毒副生成物
- ◆ 食中毒情報



株式会社コントロール・ラボ

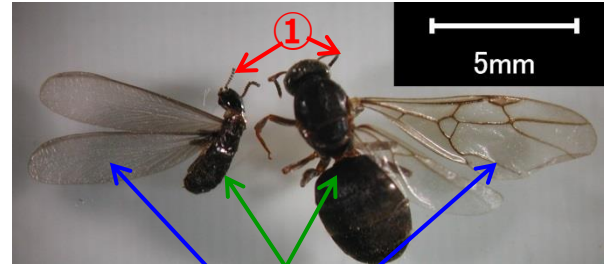
シロアリから家をまもる

初夏になり、様々な虫達が活発に動き回る季節になりました。そんな中、“羽アリ”を見かけられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？“羽アリ”には、アリの場合とシロアリの場合があります、シロアリに関しては特に注意が必要です。

シロアリってどんな虫？

シロアリは大切な建物や木材を食い荒らす世界的な大害虫で、日本には数種類が生息しています。また、実は、シロアリはアリの仲間ではなくゴキブリなどの仲間、図1のようにシロアリとアリでは触角や胴体、翅などの形態が大きく異なります。シロアリは、主に木材を食べますが、パルプ製品も好んで食べます。発泡スチロールや発泡ポリウレタン系の断熱材などは、餌にはしませんが、内部が柔らかく暖かいため木材よりも好んで加害することが知られています。

図1 ヤマトシロアリ(左)とアリ(トビイロケアリ)(右)



部位	シロアリ	アリ
①触角	数珠状	くの字状
②胴体	寸胴	くびれがある
③翅	4枚同じ大きさ	前翅が大きい

日本に生息するシロアリ

建物を加害するシロアリの大部分は、ヤマトシロアリとイエシロアリの2種類です。ヤマトシロアリは北海道北部以外の日本全国に分布しており、4月～5月頃の雨上がり後の晴れた暖かい日の午前中に羽アリが一斉に飛翔します。一般的に被害は床下や壁面に集中します。一方、イエシロアリは神奈川県以西の海岸線に沿った温暖な地域に生息しており、羽アリの飛翔は、6月～7月頃の風のない温暖多湿な夕暮れから夜に行われます。イエシロアリの被害は床下だけでなく、垂直方向にも広がり、被害が甚大になりやすい傾向があります。



図2 シロアリによる食害(大引き)

シロアリの駆除・予防

シロアリの生息地であれば、被害はどこでも起こり得るため、専門業者による定期的な予防が大切です。現在の薬剤は以前と異なり、人やペットを含め哺乳類への安全性が非常に高く、薬剤成分が気化しにくいいため匂いもほとんどありません。さらに、適正な場所に適正な処理を施すプロの業により、高い安全性と持続的な予防効果を兼ね備えることができます。

夏場に注意が必要な害虫について

6月に入り気温も上昇し昆虫の活動も活発になってきています。それに伴い害虫駆除依頼の相談件数も増加しているため、今回は夏場にかけて注意が必要な害虫種について取り上げさせていただきます。

昨年度の6月～8月に弊社に寄せられた害虫駆除依頼件数はハチが一番多く、次いでゴキブリとなっています。又、公益社団法人東京都ペストコントロール協会の事業報告によると、ハチやアリ、ムカデなどの害虫相談件数は6月～8月に年間の60パーセント以上が集中する結果となっています。

以下に被害・駆除依頼の多いハチ、アリ、ムカデについて紹介させていただきます。

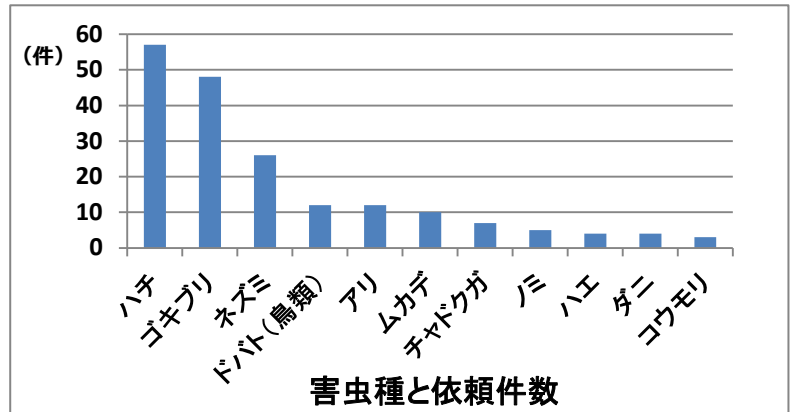


図3 昨年度(6～8月)に弊社に寄せられた害虫駆除依頼件数

ハチ、アリ、ムカデの特徴および対策

ハチ	
特徴	人に被害をもたらすのはスズメバチ類やアシナガバチ類が主で、弊社に寄せられた駆除依頼も両種が中心となっています。
被害	巣を守る防衛本能が非常に強く、夏～秋は特に人を襲うことが多くなります。
対策	屋内に進入してきた場合は刺激を与えず出ていくのを静かに待ち、巣を見つけた場合は専門家への駆除依頼をお勧めします。



アリ	
特徴	居住環境の周辺には10～30種が生息しており、オオズアリやクロオオアリ、ヒメアリやイエヒメアリが知れています。
被害	大顎での噛みつきや居住環境への侵入、都市部のビル等での大量発生が問題となっています。
対策	巣の周辺や侵入経路へ毒餌等の薬剤散布を実施します。又、食物や食品カスの放置には注意が必要です。



ムカデ	
特徴	よく見かける種としてトビズムカデやアオズムカデが挙げられ、倒木や石、落葉の下などに潜んでいます。
被害	夜行性で遮蔽部に添って屋内に進入し、特に5月～初夏にかけて問題となり、咬まれると激痛を伴い非常に危険です。
対策	建物外周へ侵入防止の為の薬剤散布などを実施します。又、床下や建物周辺の清掃を行うことで隠れ場を無くすことも大切です。



飲料水中の消毒副生成物

建築物衛生基準では、6月1日～9月30日の期間に飲料水の消毒副生成物を検査する事が義務付けられています。必要な検査項目は下記の12項目になりますので、ご確認ください。

検査項目

項目名

シアン化物イオン及び塩化シアン・塩素酸・クロロ酢酸・クロロホルム・ジクロロ酢酸・ジブromokクロロメタン・臭素酸・総トリハロメタン・トリクロロ酢酸・ブromोजクロロメタン・ブromohホルム・ホルムアルデヒド

消毒副生成物とは？

消毒副生成物は、水中に存在する有機物と消毒などで使用された塩素が反応して生成されます。

消毒副生成物の生成量は、有機物の量、水温、時間、塩素注入量などによって変化し、水温が高くなる夏期では、貯水槽内の滞留時間が長くなると生成量が多くなる事が確認されています。

上記の理由から、建築物衛生基準では年1回、6月～9月の消毒副生成物の濃度が高くなる夏の時期に検査する事が義務付けられています。

食中毒情報

ノロウイルスを原因とした食中毒が2件で（原因不明の中に隠れている可能性はありますが…）、ようやく収束に近づきました。しかし、梅雨に入り各地で食中毒警報が出され、食品の取り扱いへの注意喚起がされています。夏期は微生物が増殖しやすいため、細菌性食中毒に対して注意が必要です。例年通りだと、これからカンピロバクターやサルモネラを原因とした食中毒が増えてきます。今のうちに、食中毒予防の三原則「菌を付けない（洗浄、交差汚染防止）、増やさない（食品の低温管理）、殺す（十分な加熱調理）」を実行できているかどうか見直して下さい。

全国食中毒発生状況 (5/15～6/14 新聞発表分)

原因物質	事例	感染者数
ノロウイルス	2	136
ウェルシュ菌	1	54
黄色ブドウ球菌	1	4
自然毒	2	6
不明・その他	7	187

株式会社コントロールラボ

本社 〒651-1211 神戸市北区小倉台7-1-7
 阪神事業部 〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町2-4-15
 福岡営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑1-6-15-A棟3
 フリーダイヤル
 ☎0120-540-643
 URL <http://controllabo.co.jp>

TEL: 078-582-3575 FAX: 078-582-3576
 TEL: 078-858-6801 FAX: 078-858-6802
 TEL: 092-575-0630 FAX: 092-586-6321



株式会社コントロールラボ



エムテック衛生検査所